

# NIE教育 実践報告

歴史的分野 持続可能な社会に向けて

世田谷区立砧中学校 社会科 蔵部駿介

# 実践内容

- 実践時期：7月中頃～後半
- 実践学年：3学年
- 時 数：1～3時間
  - \* クラスの授業進度によって異なる
- 単 元：歴史的分野  
(持続可能な社会に向けて)

○記事の見出し

[Redacted area]

○掲載されていた新聞

[Redacted area] 新聞

[Redacted area]

月

[Redacted area]

日

《 朝刊・夕刊 》

関連するSDGsの項目 [複数可]

[Redacted area]

# 記事の要約



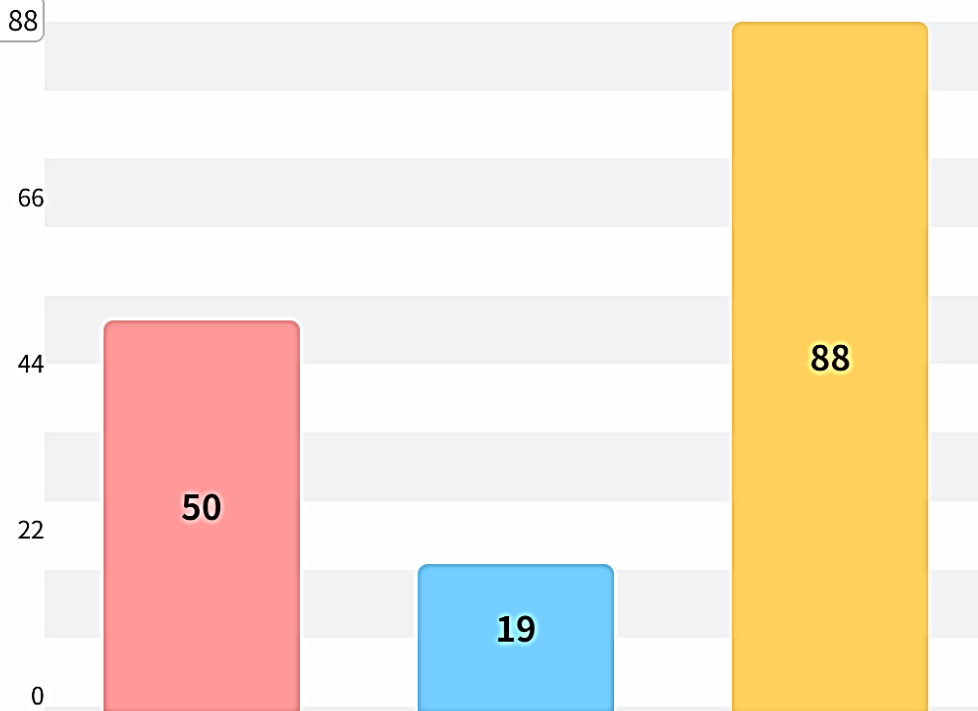
○記事を読んで疑問に思ったこと、より詳しく知りたいと思ったこと

○調べた結果分かったこと

参考文献・サイト

← Q1 皆さんの新聞を読みますか？

棒グラフ 円グラフ



紙の新聞は読まないが  
電子版や  
ネットニュースを読む

読む

読まない

回答者数 157

- NIE教育は毎朝特別な取
- 新聞は読
- 学力は全生徒間の

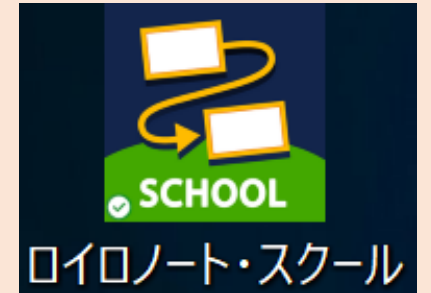
みとして新  
れとって  
い。

り上だが、

# 結果

## ・生徒の成果物

＊ロイロノート・スクールを利用して収集



○記事の見出し

CO2排出 車9000万台分

○掲載されていた新聞

毎日

新聞

6

月

18

日

《 日刊 》

関連するSDGsの項目【複数可】

7,全ての人が安く安定した持続可能な近代的エネルギーを利用できるようにしよう

8,気候変更及びその影響を軽減するための緊急対策を講じよう

16,持続可能な開発のための平和的で誰も置き去りにしない社会を促進し、全ての人が法や制度で守られる社会を構築しよう

## 記事の要約

ロシアのウクライナ侵攻から2年間で追加で生じた温室効果ガスは、二酸化炭素換算で少なくとも1億7500万トンに達するとの報告書が出された。火災や復興工事などにより環境被害が生じているが、そのうち軍事行動により発生したものは全体の約3割を占め、最大の汚染源はロシア軍が使用する燃料消費で3520万トン、ウクライナ軍は940万トンだった。また、民間機の航路変更に伴う追加の排出量は2400万トンで全体の14%だった。ウクライナ政府はロシアへの損害賠償に環境被害も盛り込む方針を明らかにしている。

○記事を読んで疑問に思ったこと、より詳しく知りたいと思ったこと

- ・戦争はどのくらいまで続く見通しなのか
- ・燃料は具体的にどのようなものに使われているのか

○調べた結果分かったこと

- ・ウクライナ国内の環境被害は総額360億ユーロ(日本円で6兆円くらい)
- ・土壌への被害が114億ユーロ、大気汚染による被害が246億ユーロ
- ・火災などにより深刻なダメージを受けた森林の回復には数十年かかる
- ・戦争は10年は続く見通し、現在は停滞している
- ・近代の技術を使った、ミサイル(ATACMS)、戦車(エイブラムス)、戦闘機(F16戦闘機)などで燃料が多く使われており、災害などの被害が大きくなっている
- ・ミサイルや砲弾は金属を含んでおり、爆発すると粉々になって住宅地に混入する  
また、金属は環境中に残留する

参考文献・サイト

- ・2024年2月22日放送のBテレ東「広がる悲観論…ウクライナ侵攻3年目へ停戦はワナ？ロシア恐怖の行動パターン」
- ・ジェットロ(日本貿易振興機構)「ウクライナ、軍事侵攻による環境被害を360億ユーロと推定」
- ・Toda Peace Institute「ロシアのウクライナ侵攻による環境・気候被害への深刻な懸念」

# 反省

- 新聞の読み方について、基礎的なことを事前に教えておくべき。
- 授業時数をもっと確保する必要があった。
- 次回から、より授業の目的に沿ってピンポイントで記事を利用する実践を行いたい。



# 今後の展望

- 国際法の授業に新聞記事を生かしたい。
- 公民的分野を扱っているので、特に政治分野で新聞を用いて授業を行っていききたい。